

令和7年度

3向小だより



令和8年1月30日

3向小
オリジナル
キャラクター
「まがたん」



2月号 向日市立第3向陽小学校

075-932-1003

URL: <https://www.kyoto-be.ne.jp/3kouyou-es/>
e-mail: 3kouyou-es@kyoto-be.ne.jp

目指す子ども像

- ◇ 自ら進んで学ぶ子
- ◇ 様々な人とつながる子
- ◇ 元気でたくましい子

自己調整力について考える

校長 中西 優子

本校ではここ数年宿題の在り方を見直し、「定量の宿題を全員に一律に課す」ことから、「自分にとって必要な学習を自ら考えて実践できる」よう弾力的な形態を加味して、家庭学習の在り方を改善してきました。例えば、漢字ドリルを全員3回ずつ練習→1回練習した後は、「苦手な漢字を徹底的に練習する」でも「様々な熟語探しをする」でもいいというように、弾力的な幅を持たせ主体性を重んじるようにしてきました。

自分の学習状況を客観的に評価し、学習の仕方も含めて自らの工夫や判断で最適なものにしていく力を自己調整力と言います。宿題の改善も、この自己調整力育成の考え方によるものです。

昨年末に実施しました、学校教育活動保護者アンケートでは、お子さんの家庭学習時間を回答いただきました。結果はグラフの通りなのですが、学校ではさらに「学習時間が少ない児童」「スクリーンタイム(情報機器等の画面を見ている時間)が長い児童」「学習面において努力を要する児童」「宿題の工夫が顕著に見られる児童」など、個々の児童を中心に、詳細に分析しました。

その結果、以下のような点が明らかになってきました。

- ◇ 自分に必要な宿題を工夫できている児童は、学習時間が一定長く成績も良い傾向がある。
- ◇ スクリーンタイムが長い児童は、学習時間も短く、内容の工夫の範囲が狭い傾向がある。
- ◇ 宿題の工夫について向上が見られる児童は、学年が進むにつれ、学習時間も増加し、成績の改善傾向が見られる。

もちろん、発達段階や学習内容の習得方法に個人差はあり、一概に言えない面もありますが、学習時間の長短、成績の善し悪しだけでなく、学習の質にも目を向けたとき、やはり一定の訓練を通してその成果が少しずつ表れてくるということが、データや観察から見えます。家庭学習でも授業でも子どもの主体性任せでほったらかしということではなく、担任としては、個々へのより緻密で厳しい視線が必要となる「自己調整力の育成」に、3向小教職員一同、しっかり取り組んでまいります。今後もご家庭のご理解・ご協力と見守りをよろしくお願いいたします。



「学校教育活動 保護者アンケート」 ご協力ありがとうございました。

2学期末に「学校教育活動保護者アンケート」を実施しました。今回内容項目の大幅変更とともに、記名式での回答をお願いしましたが、大変多くの回答をお寄せいただきました。

1から15のアンケート項目につきましては、結果を裏面に掲載しております。また、記述欄においても、多くの貴重なご意見をお寄せいただき、誠にありがとうございます。教職員一同、真摯に受け止め、今後の教育活動に生かしてまいりたいと存じます。(また、各ご意見等に関しましては、様々な機会を捉えご説明の上、ご理解・ご協力いただけるよう努力してまいります。)

今後とも、本校教育活動へのご理解・ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

3向小の「歴史資料室」は、大事な資料がたくさん入っているので、見てみたいときは、先生にお願いしてね。

まがたんの教えて3向小！【3向小歴史資料室】

3向小の南校舎3階に「歴史資料室」があります。貴重な土器や模型などとともに、弥生時代の竪穴住居の巨大な模型も納められています。ずいぶんむかしに向日市文化資料館にあったものを移築し、再度組み立てるにあたっては、多くの地域の方々に協力していただいたそうです。その他にも昔の暮らしの道具もたくさん置かれています。現在も3～6年の社会科、総合的な学習の時間の学習に活用しています！

2月の行事予定 ※()内の数字は学年です。		
2	月	クラブ
3	火	出前授業「LGBTQ」(3)(6)
5	木	チャレ学(12)
6	金	本校公開授業(教職員のみ) ※1 放課後、学校では遊べません。
9	月	委員会
10	火	新1年生入学説明会
12	木	チャレ学(12)
13	金	参観・懇談会
16	月	クラブ(最終)
19	木	チャレ学(12)
20	金	チャレ学(3~6)
26	木	6年生を送る会 ※2 チャレ学(12) ほのぼの ※3
27	金	チャレ学(3~6)

※1 1/13 配信のミマモルメにてお知らせしておりますが、再度ご確認ください。本校公開授業に伴い、下校時刻が変更になります。

<2/6(金)>

1, 4, 6年, たけのこ→4校時授業【下校13:20】
2, 3, 5年→5校時授業【下校14:20】

<2/10(火)>

1, 2, 3, 5年→5校時授業【下校14:20】
4, 6年→6校時授業【下校15:30】
たけのこ→担任より、個別に連絡させていただきます。

※2 6年生を送る会 9:00~9:55予定
(6年生保護者の方のみ参観可能です。)

※3 ほのぼの開催のため、全学年下校15:30

【3月の主な行事予定】

9日(月) 全学年5校時授業 下校14:40
11日(水) 地区集会
18日(水) 給食終了
19日(木) 卒業証書授与式(6年生のみ登校)
24日(火) 修了式



【年度内転出校区内転居について】

転出や校区内転居の予定がありましたら、お早めに担任までお知らせください。

【2月の諸費引き落とし日】

1回目:10日(火) 2回目:20日(金)

	学年費	積み立て金
1年	700円	
2年	500円	
3年	1,000円	
4年	1,000円	1,500円 (臨海学習)
5年	0円	3,000円 (修学旅行)
6年	0円	

口座残高の確認
をお願いします。

【落とし物について】

校内で、持ち主不明の落とし物が多くなっております。13日(金)の参観・懇談の日に、昇降口に並べますので、お子様の物がありましたら、お持ち帰りください。また、持ち物への記名をよろしく願います。

尚、2月末で処分させていただきますのでご了承ください。

【来年度の主な予定】※現段階での予定となります。

4月8日(水) 着任式・始業式

9日(木) 入学式

14日(火) 給食開始(新2年~新6年)

17日(金) 給食開始(新1年)

5月14日(木)~15日(金) 修学旅行(新6年)

5月23日(土) 土曜参観

5月25日(月) 代休

6月 3日(水)~4日(木) 臨海学習(新5年)

7月17日(金) 1学期終業式

8月25日(火) 2学期始業式

10月17日(土) 体育大会

10月19日(月) 体育大会代休

12月23日(水) 2学期終業式

1月 7日(木) 3学期始業式

3月19日(金) 卒業証書授与式

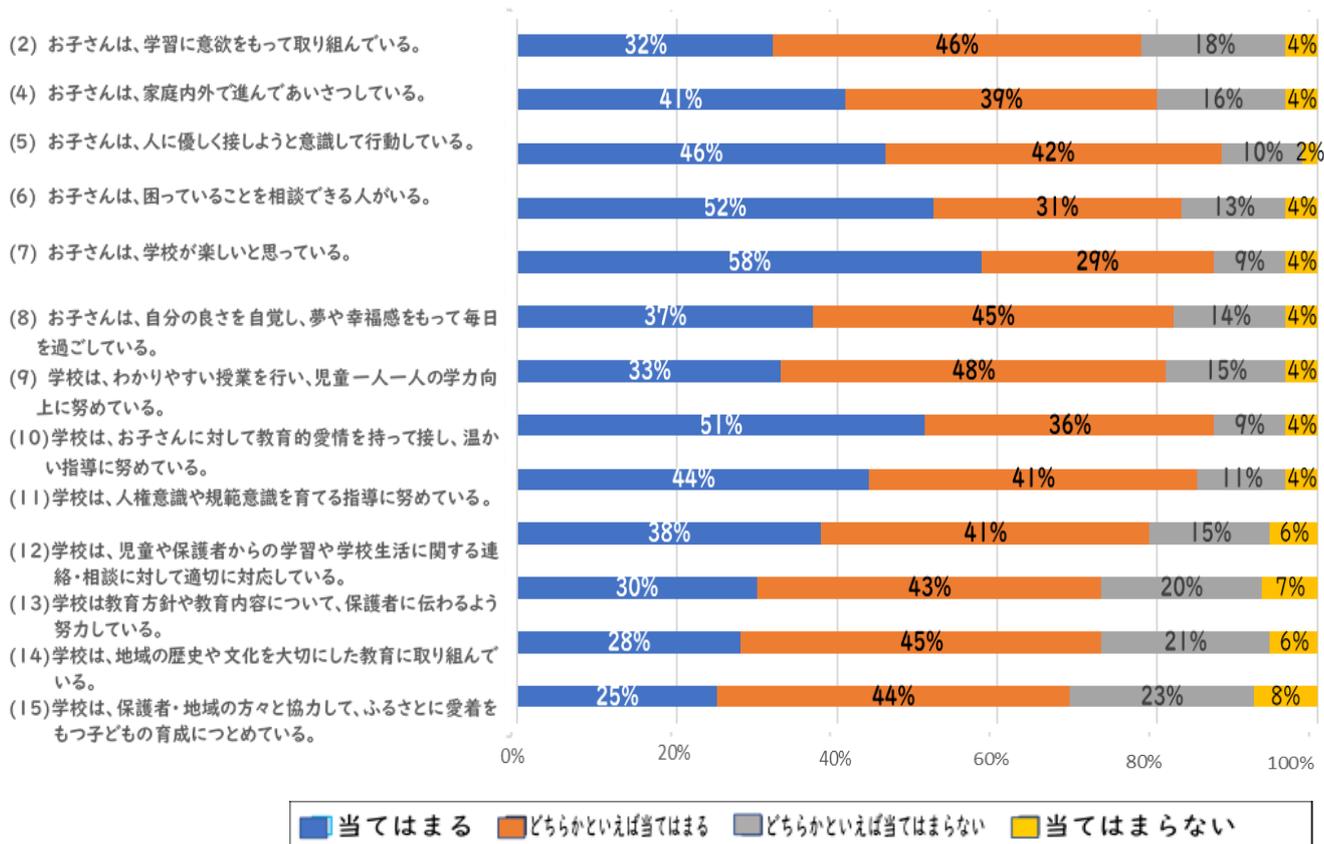
3月24日(水) 修了式

学校では、児童の様子などをホームページでお伝えしています。スマートフォンや携帯電話からもご覧になれますので、QRコードから是非アクセスしてみてください。



令和7年度 学校教育活動保護者アンケート 結果 12月実施

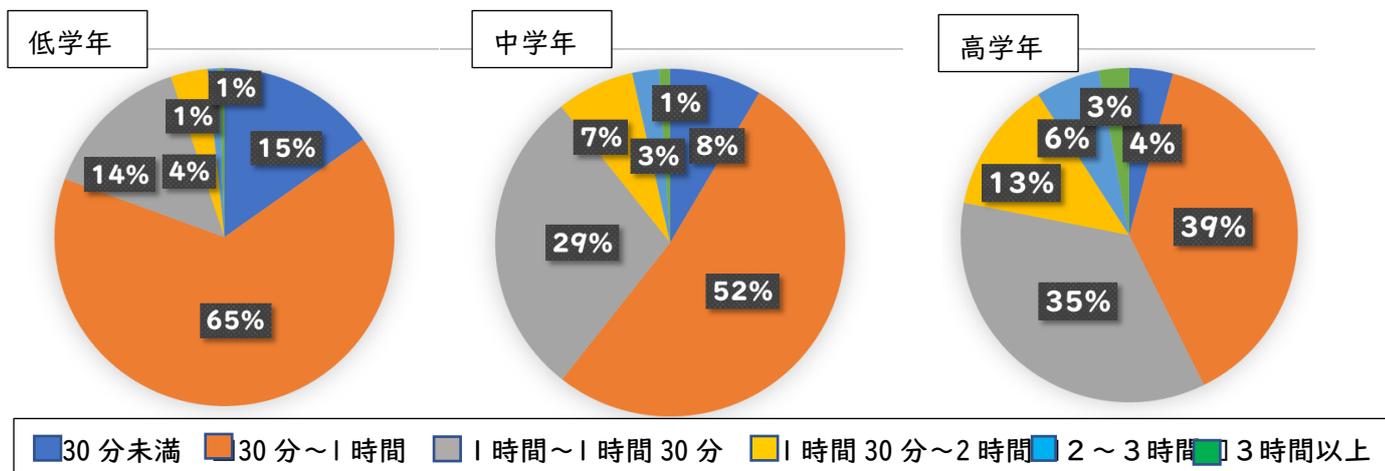
12月にお世話になりました「学校教育活動保護者アンケート」の集計結果を報告いたします。短期間の回答期限にもかかわらず、280件(回答率90.9%)もの多くの回答をいただきました。



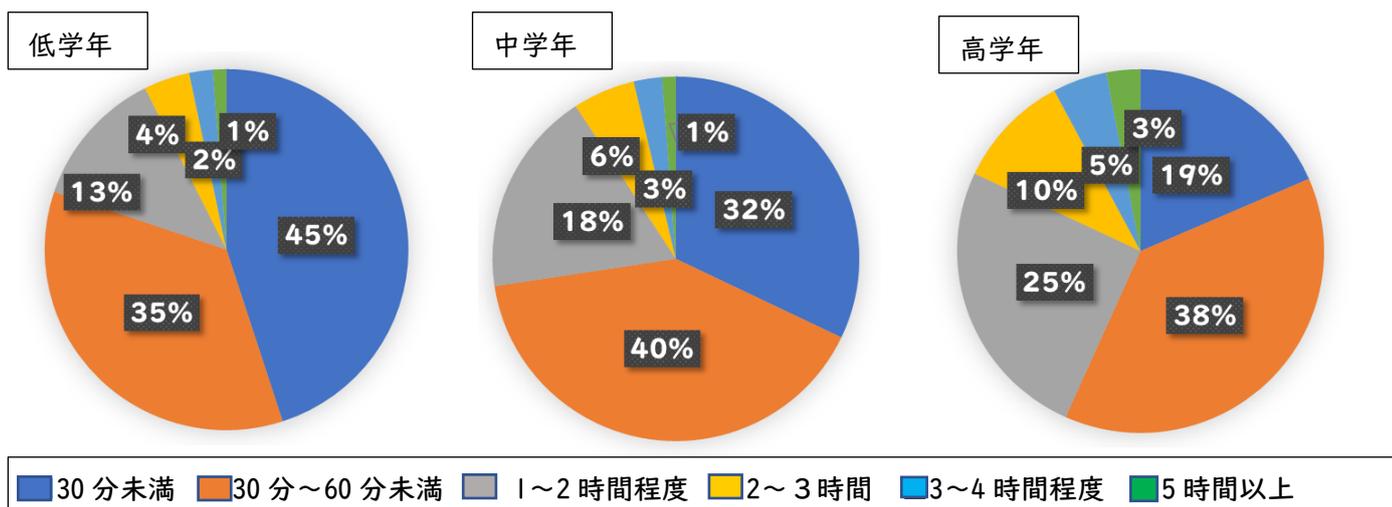
多くの項目で概ね80%程度の肯定的な意見をいただきました。特に、「お子さんは、人に優しく接しようとして意識して行動している」「お子さんは、学校が楽しいと思っている」「学校は、お子さんに対して教育的愛情をもって接し、温かい指導に努めている」の項目が高く、子どもたちが温かい人間関係の中で学校生活を送っている様子が結果から覗えます。一方で、「お子さんは、学習に意欲をもって取り組んでいる」の項目では、否定的な意見が概ね20%の結果となりました。学年別の詳細分析をしますと学年が進むにつれ学習意欲に課題が見られました。学習内容が難しくなっていくことも一因ではありますが、「わかる楽しさ」「自ら学ぶことの意義」を感じられるよう、わかりやすい丁寧な授業を行い、一人一人の学力向上に努めていきたいと思えます。

また、学校からの保護者の方への情報発信や地域や保護者の方と連携した教育活動の充実につきましては、肯定的な意見が70%に留まりました。本校では、年間を通じて地域学校協働本部事業や地域の方や外部講師を招いた出前授業など多岐にわたり行っております。今後は、より一層子どもたちの姿や学びを保護者の方と共有できるよう直接お会いできる懇談会や学校説明会、また学校便りやホームページを通して発信してまいります。

(1) お子さんは、毎日〇分程度家庭学習（宿題、自主学習）に取り組んでいる。



(3) お子さんは、毎日〇分程度デジタル画面（機器）を覗いている。
（スマホ、ゲーム機器、パソコン、テレビなど）



家庭学習については、学年が進むにつれ学習時間が増える傾向がみられる。低学年の「家庭学習の習慣定着期」から、学年が進むにつれ家庭学習の内容が質的に高まる「自分で考える（自己調整を図る）家庭学習」に移行していることも考えられます。一方で二極化している状況も覗えます。引き続き、子どもたち一人一人の学習状況を丁寧に把握し、保護者の方と連携を図りながら進めてまいります。

スクリーンタイムについても、学年が進むにつれ2時間を越える割合が増えています。帰宅後の時間の多くをデジタル画面に費やしている層は、家庭学習時間が短く、学習意欲も否定的な回答をしている傾向が強く見られます。放課後から就寝までの限られた時間をどのようにマネジメントしていくのか、今一度、ご家庭でデジタル機器使用のルールを含め、話し合う機会をもっていただければと思います。

今回のアンケートでは、学校への温かい励ましとともに、学習環境や家庭学習、行事等について多岐にわたりご意見をいただきました。お寄せいただいたご意見を真摯に受け止め、子どもたちの学校生活がより一層充実していくよう教職員一同努力してまいります。